

令和元年度 市民活動スキルアップ講座
「新聞記者によるプレスリリース講座」

実施報告書

■開催日時 令和元年 5 月 28 日（火） 19：00～21：00

■会 場 菊川市市民協働センター

■講 師 宮坂 武司 氏 静岡新聞社掛川支局長

■目 的

市民活動スキルアップ講座は、市民活動の推進に必要なスキルや知識を身につけるため、団体の悩みに応じたスキルアップの方法を学ぶ。

■対 象 NPO、市民活動団体、自治体職員、地域活動に関心のある方など

■参加者 21 名

・市内NPO法人・市民活動団体、自治体、コミュニティ協議会、企業、市外NPO法人・市民活動団体、個人

■講座内容

〔前半〕講義「新聞記者によるプレスリリース講座」

市民活動の広報力、情報発信力を高めるために、現場で活躍する新聞記者から記事の書き方のコツやメディアに取り上げてもらうための視点などを学ぶ。

前半は静岡新聞社掛川支局長の宮坂武司氏が「メディアを使った情報発信について」と題し講義。紙面構成や分野ごとに取り上げられやすい記事についてや、リリースをする上でのポイントとして日時や場所を明確にすること、ニュース性のある見出しが立ちやすい内容は取材しやすいことなどを話した。

また最近では動画で情報発信をすることもあり、スマートフォンのアプリを使用して新聞記事の写真にかざすと、PR動画が見られるものもあることを伝えた。

プレスリリースのポイント

- ・季節もののイベントや活動はリリースのタイミングが大切。特に連休前などは、観光目的で記事を見る人が多いため。
- ・記者が他の支局とのスケジュール調整などの関係もあるため、取材依頼には期間に余裕を持つこと。
- ・取材依頼書には日時や場所、詳細内容など明確に表記すると記者に伝わりやすく取材しやすい。ホームページや地図、写真があると尚良い。(初めての場合はイメージや加工でも可)
- ・アピールしたいポイントを明確にすること。
- ・主催がどこかはっきりさせること。
- ・イベントや活動のコンセプトが明確であること。
- ・成果が分かる節目のイベントや活動は見出しにしやすい。
- ・団体の身内のイベントなどより、若者や学生の活動、社会的課題の解決に向けた活動は取材されやすい。
- ・掛川市役所の広報取材依頼の紹介。リリースしたいイベントや活動のタイプ（全国初・市内初・珍しいなど）のアピールポイントが明確。また内部（広報担当課と記事を記事依頼担当課）でリリースのレビューを行っている。

〔後半〕ワーク「取材依頼を作成してみよう！」

参加者が講義で学んだポイントを押さえながら、これからリリースしたいイベントなどの「取材依頼書」を作成し、グループ内で紹介しあった。その後グループの代表者が「取材依頼書」を発表し、宮坂氏から具体的なアドバイスを受けた。

講師アドバイス

Aグループ：子育てや仕事に頑張る大人女性の心と体を癒す

大人女性の贅沢時間イベント

アドバイス：他県で開催される菊川市のお茶をPRしていることを取り上げていれば、7日月以降に茶況で取り上げてもらえそう。

Bグループ：珍しい「ネオマリカ」の花が咲き始めました

アドバイス：日時、場所、ターゲットは明確に表記することが大切。また参加者やスタッフなど人物がいる方が写真を撮りやすい。物撮りだけではなかなか使ってもらえない。

Cグループ：ふるさとの偉人に学ぶ 歴史演談「最後の侍・関口隆吉の半生」

アドバイス：例として「今年が特別な1年」というのが内容に入れ込んで行けたら良い。節目であることや特別感を出す。また演劇やコンサートなど長時間の取材は、スケジュール上難しい。撮影してほしい場面など把握のため、事前にタイムスケジュールを確認しタイミングを聞きたい。

Dグループ：アートのある暮らし「手しごと展」

アドバイス：受講料や入校料が高いと会社（静岡新聞社）的にNGが出てしまうことがある。イベントなどは体験最中や動きのある瞬間の写真が使われる。複数日開催する場合は、子どもの参加が多い日を教えてほしい。

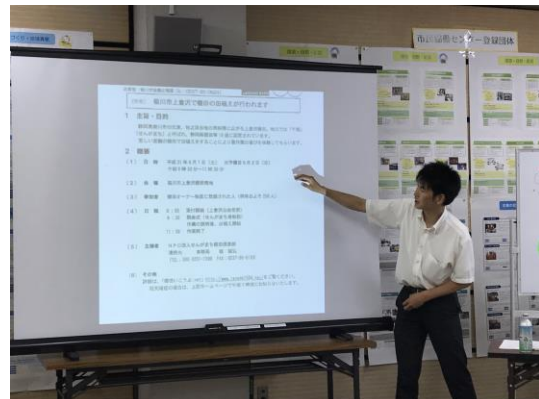
Eグループ：第16回 やんちゃじゅく「飛ぶものであそぼう！」

アドバイス：プレスリリースの仕方が良い。活動内容や写真、タイムスケジュール、コンセプトがわかりやすいので取材に行きやすい。

【まとめ】

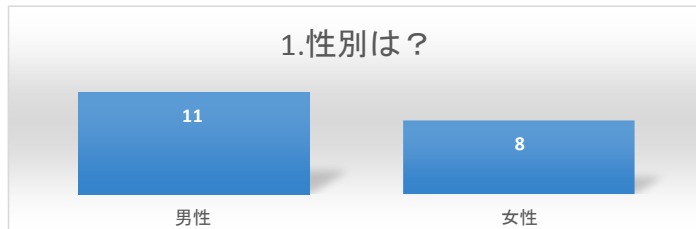
市民団体が活動の情報発信ツールとして新聞等のメディアへの期待や関心が大ききことを実感し、参加者同士や講師との顔の見える関係づくりができたことは大きな成果であった。今後は報道を活用することで、市やNPOにより多くのポジティブなニュースや、菊川市ならではの企画や魅力を発信していくことにつながっていくと良い。

■講座の様子

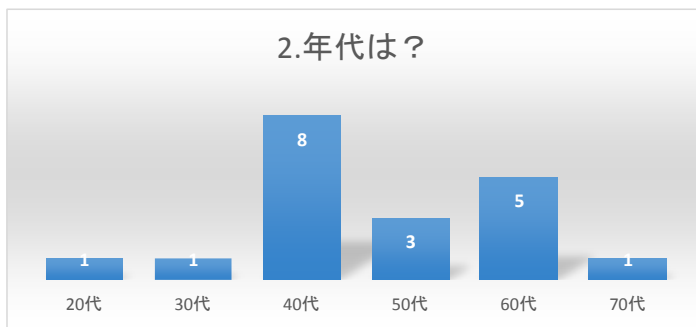


平成31年度市民活動スキルアップ講座 知って得する!新聞記者によるプレスリリース講座 アンケート結果

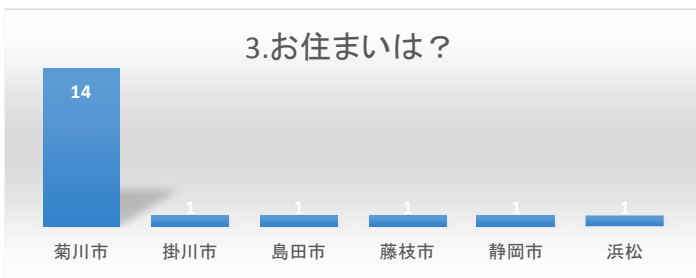
開催日：令和元年5月28日（火）
会場：菊川市市民協働センター
回答者数：19/21名



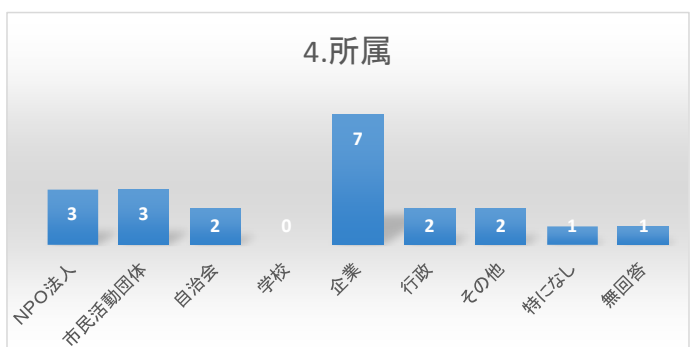
No	性別	人数
1	男性	11
2	女性	8
	合計	19



No	年代	人数
1	20代	1
2	30代	1
3	40代	8
4	50代	3
5	60代	5
6	70代	1
	合計	19

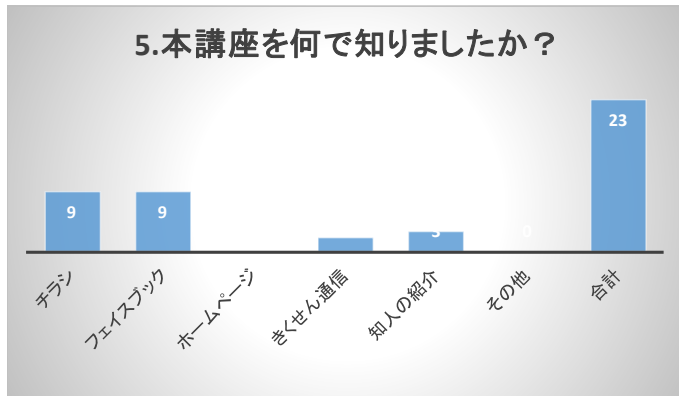


No	地域	人数
1	菊川市	14
2	掛川市	1
3	島田市	1
4	藤枝市	1
5	静岡市	1
6	浜松	1
	合計	19



No	所属	人数
1	NPO法人	3
2	市民活動団体	3
3	自治会	2
4	学校	0
5	企業	7
6	行政	2
7	その他	2
8	特になし	1
9	無回答	1
	合計	21

※複数回答あり

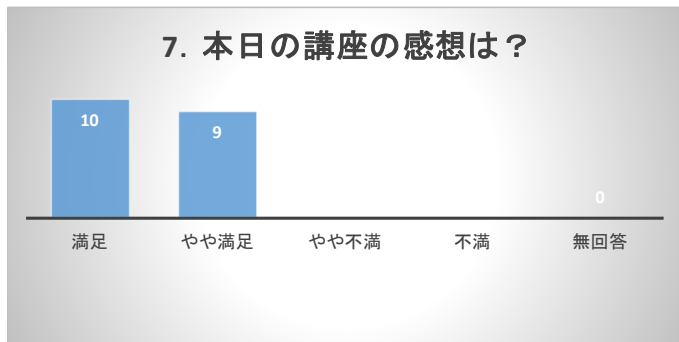


No	方法	人数
1	チラシ	9
2	フェイスブック	9
3	ホームページ	0
4	きくせん通信	2
5	知人の紹介	3
7	その他	0
	合計	23

※複数回答可

6.本講座を受講したきっかけや理由を教えてください。

- ・事業のPRの仕方を学んだ方が良さそうだと感じていたから。(20代女性)
- ・宮坂さんを存じ上げていたので安心感があった。(20代女性)
- ・団体の情報発信がまだまだ出来ていない部分が多いのでまた聞きたいと思い参加した。(30代女性)
- ・NPO活動のプレスリリースをどうやるかを学びたいと思ったため。(40代男性)
- ・興味があったから。(40代男性)
- ・情報発信の基礎を学びたかったため。(40代男性)
- ・新聞記者から見たニュースの着眼点を知ればと思い参加した。(40代男性)
- ・プレスリリースは毎回出しているが、担当に任せていたので自分でもポイントを把握したかった。有効なプレスリリース作りが出来たらもっと情報発信ができると思った。(40代女性)
- ・職場で広報に関わっているため。(40代女性)
- ・自団体をもっと上手にPRしたいから。(40代女性)
- ・静岡新聞や北海道新聞へプレスリリースを送り続けているが、取り上げていただけないため、コツなどを知りたく参加した。アドバイスも欲しいため。(40代女性)
- ・ドローンの有効活用や使用方法などの指導や情報発信の仕方に役立てたいと思って受講した。(50代男性)
- ・学校への助言の参考に。(50代男性)
- ・チラシ作りや広報的な事をしている。より広く活動を知ってもらいたいための学習として参加した。(50代女性)
- ・地区の行事を取り上げてもらうコツを知りたかった。新聞の編集や企画のヒントを得たかった。(60代男性)
- ・情報発信について興味があったから。(60代男性)
- ・今後、取材してもらい横地地区のアピールをしたい。(60代男性)
- ・新聞に載せて頂きたい事がある。(70代男性)



NO	感想	人数
1	満足	10
2	やや満足	9
3	やや不満	0
4	不満	0
5	無回答	0
	合計	19

その理由は？

【満足】

- ・リリースのいろはがわかった。記者目線がわかり、とても参考になった。(20代女性)
- ・かなり具体的にお話しいただき、わかりやすかった。(30代女性)
- ・身近な話題で話の内容もわかりやすかった。情報発信のハードルを感じさせない講座で、近いうちに取り組みそう。(40代男性)
- ・実際のプレスリリースを見てコメントを聞いたのは非常に参考になった。(40代男性)
- ・インパクトのあるプレスリリースを作りたいため、自分企画のイベントなどに責任を持って情報発信をできるようアイデアをいただいた。(40代女性)
- ・プレスリリースの基本がわかった。取材に来てもらいたい。(40代女性)
- ・取材依頼をするときのポイントがわかった。(40代女性)

【やや満足】

- ・取材依頼のポイントが良くわかった。(40代男性)
- ・新聞記者の率直な意見や記事の視点がわかった。(40代男性)
- ・新聞社へ向けての取材の依頼状などスライドで見ることができ勉強になった。取材を待っているだけでなくこちらから積極的に問合せしてもいいのだ！という発見もあり勉強になった。プレスリリースのフォーム、ワークがあり良かった。ありがとうございます。(40代女性)
- ・事例紹介の発表が長い、助言がもっとつつこんで良い。(50代男性)
- ・新聞へのアピールをしてみたいと感じた。(50代女性)
- ・プレスリリースの様式(記入事項)がよくわかった。(60代男性)
- ・プレスリリースの仕方が少しわかった。(女性)

8. 今後受けたい講座などありましたらご記入ください

- ・企業とタイアップできるような企画のつくり方講座など。(40代女性)
- ・シルバー人材センターと重複しない老人パワーの活用。(60代男性)

